

「サプライヤ情報収集シート（推奨版）」の活用要領

1. 入手の方法

「サプライヤ情報収集シート」は、エクセルシートで作成されています。

貴社の関係会社、サプライヤへの展開は、当会ホームページよりダウンロードするようご案内をお願いいたします。

【URL】 <https://www.japia.or.jp/work/csrbcp/supplier/>

2. 記入方法

- ・「サプライヤ情報収集シート」は、「サプライヤ情報収集シート記入用」と「記入要領」の2種類のシートから構成されています。必ずセットで活用下さい。
- ・「サプライヤ情報収集シート」に記入する場合は、「記入要領」シートを参照しながら、ご記入下さい。

3. 展開方法・報告基準：

(1) 展開方法：

貴社及び関係会社、仕入先等へ「サプライヤ情報収集シート」を展開して下さい。

情報収集の必要のある災害が発生した場合には、「サプライヤ情報収集シート」で、ご報告頂くことを推奨いたします。

(2) 報告標準納期及び内容：

サプライヤ情報収集シートによる報告基準及び内容は以下のとおりです。この基準に基づいて仕入先等から情報を収集し、顧客へ報告をお願いします。

段階	報告標準納期	内容
初報	<p>◇稼働日：当日(n日)</p> <p> サプライヤ→部工会会員・・・発生後(情報入手後)2.0h以内</p> <p> 部工会会員企業→顧客・・・発生後(情報入手後)3.0h以内</p> <p>◇夜間・休日：翌稼働日(n+1日)</p> <p> サプライヤ→部工会会員企業・・・9:30までに</p> <p> 部工会会員企業→顧客・・・11:00までに</p> <p><u>※土・日および長期連休等の会社非稼働日に災害発生の場合は、在庫量等を勘案し、生産に障害が生じるおそれのある場合は、速やかに顧客報告が必要</u></p> <p><u>*顧客への報告は、最終的には顧客からの指示を優先</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被災概要 ・納入影響の有無

※情報収集の必要のある災害が発生した場合には、「現時点では不明」も含めて報告下さい。

※無事な場合は、顧客に対して、サプライヤ情報収集シートでの報告は不要ですが、「被災なし」とご報告を頂ければ幸いです。



以降は JAPIA 各社で品番別に供給継続シナリオ管理と顧客報告

段階	報告納期	内容
2報	n+2日	影響品番の特定、枯渇日/復旧見込み(概略)

復旧見込み以前に枯渇 ⇒ 対策(代替品等)の報告。「3報」を依頼。

枯渇前に復旧見込み ⇒ 状況ウオッチ。変化あれば「3報」を依頼。



段階	報告納期	内容
3報 以降	随時更新	品番別の在庫状況と供給対策 供給継続シナリオのアップデート、課題への対応